

羅 針 盤			方 策	点検・評価		達成度	達成状況のまとめ及び次年度の課題	学校関係者評価	
評価対象	評価項目	具体的数値項目		自己評価	外部アンケート等	総合			
I 特色ある学校づくりに努めていますか。	1 特色ある教育活動を行っていますか。	①「太田フレックス高校通信制の履修形態に満足している」と考える生徒・保護者が90%以上である。	履修ガイダンス及び履修相談の充実のため、研修等で職員の共通理解を図る。						
		②「太田フレックス高校通信制に入学してよかった」と考える生徒・保護者が80%以上である。	生徒の修学目的が達成できるように、個に応じたサポートをする。						
II 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしていますか。	2 生徒の実態に応じた指導を行っていますか。	③「授業（スクーリング）やレポートが分かりやすい・適切である」と考える生徒・保護者が90%以上である。	12月に授業アンケートを実施したり、レポートで生徒が間違えやすい問題を分析したりして、生徒の実態に合った授業を工夫する。						
		3 生徒は確かな学力を身に付けていますか。	④「学力が向上した」と考える生徒・保護者が70%以上である。	主体的・対話的で深い学びの実現を目指して生徒理解に努めるとともに、学習の過程を重視して、自主的・自発的な態度を育む授業に取り組む。					
	⑤生徒の単位修得率が60%以上である。		年5回配付している「個人別状況一覧」を活用して計画的に学習を進め、単位修得につながるよう、個々の生徒にきめ細かな指導を行う。						
III 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	4 組織的・継続的な指導を行っていますか。	⑥全教職員が、重点目標を踏まえた自己目標を設定し、教育活動に取り組んでいる。	重点目標と学校評価一覧表を連結し、これらに基づいて自己申告書を作成する。						
		⑦生徒に関する情報交換を月2回以上行う。	情報の共有化を図り、統一した指導体制をとる。						
		⑧「交通マナー・交通ルールの遵守を意識している」と考える生徒・保護者が100%である。	「フレックス通信」等で交通マナー・交通ルールの遵守を呼びかけるなどして、生徒の意識を高め、自己啓発を図る。						
	5 学校はいじめの防止や早期発見に向けた取組を積極的に行っていますか。	⑨「学校は、いじめ防止や早期発見に向けた取組を積極的に行っている」と認識している生徒が80%以上である。	オリエンテーションや集会、フレックス通信、アンケート等において、いじめ防止に係る方針等を生徒に周知するとともに、いじめの早期発見を心がけ、認知した際は組織で対応し、早期解消に努める。						
		6 生徒は健康で、規則正しい学校生活を送っていますか。	⑩「学校のHPやフレックス通信でいつも学校の情報を確認している」と考える生徒・保護者が90%以上である。	スクーリング実施日に合わせてフレックス通信を発行して情報を発信する。また、ホームページを更新し、スマホやPC等でも学校からの連絡が見られるようにする。					
			⑪「太田フレックス高校は、安心・安全な学習環境が整っている」と感じている生徒・保護者が70%以上である。	スクーリング実施日は、職員が校内を巡視する。また、学校行事等を精査して実施することで安心・安全な学習環境を整える。					
⑫「教育相談が充実している」と考える生徒・保護者が80%以上である。	管理職、年次主任、教育相談係、スクールカウンセラー等が連携し、個々の生徒へ複数の教職員で支援を行う。								
IV 生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。	7 計画的な指導を行っていますか。	⑬「進路についての情報が学校から適切に提供されている」と考える生徒・保護者が70%以上である。	面談等で得た個々の生徒の情報を共有し、生徒の状況や進路希望をもとに組織的な情報発信に努める。						
	8 生徒は自らの進路について真剣に考え、その実現に向けて取り組んでいますか。	⑭「進路目標の実現に向けて努力している」と考える生徒・保護者が70%以上である。	進路説明会や個別面談等を充実させ、卒業年次生の進路目標の達成を支援する。						
V 開かれた学校づくりに努めていますか。	9 家庭、地域社会に積極的に情報発信をしていますか。	⑮通信制たよりである「フレックス通信」を月2回以上発行する。	保護者にも通信制の様子が伝わるよう多くの情報を提供する。						
		⑯学校（通信制）のホームページを月2回以上更新する。	スクーリングや学校行事等の連絡や、入試や学校案内等の情報を発信する。						
VI 教育デジタル化に努めていますか。	10 ICTを活用した指導を行っていますか。	⑰授業においてICT機器を活用した講座の割合が70%以上である。	PC、書画カメラ等を適切に活用することにより、分かりやすい授業を行う。						
	11 ICTを活用した業務改善を行っていますか。	⑱職員間の情報共有にオンラインを活用している。	オンラインで共有できる情報を精査し、職員会議や打合せの効率化を図る。						
※各学校で必要に応じて評価対象を加える。									